

地域包括ケア病床ご紹介

当院では、急性治療後のリハビリ・在宅復帰に向けた医療支援を行うため、平成26年10月より地域包括ケア病床（現在28床）の稼働を行っております。

■ 地域包括ケア病床とは？

「地域包括ケア病床」といってもなかなかピンとこないかもしれません。“急性期から在宅への橋渡しをさせていただくための病床”でいえば、退院の準備をする病床です。通常では急性期治療を終了し、病状が安定すると退院になりますが、急性期治療を終了してもすぐに在宅復帰、また施設へ移ることに不安のある患者様に対して、「在宅復帰支援計画」に基づき、主治医、看護師、リハビリスタッフ、ソーシャルワーカー、その他メディカルスタッフが協力して復帰支援を行い、在宅復帰を目指す病床です。

■ 地域包括ケア病床の特徴

- → 急性期治療後の受け入れが可能
- → 在宅・生活復帰を積極的に支援
- → 計画的かつ積極的なリハビリを実施



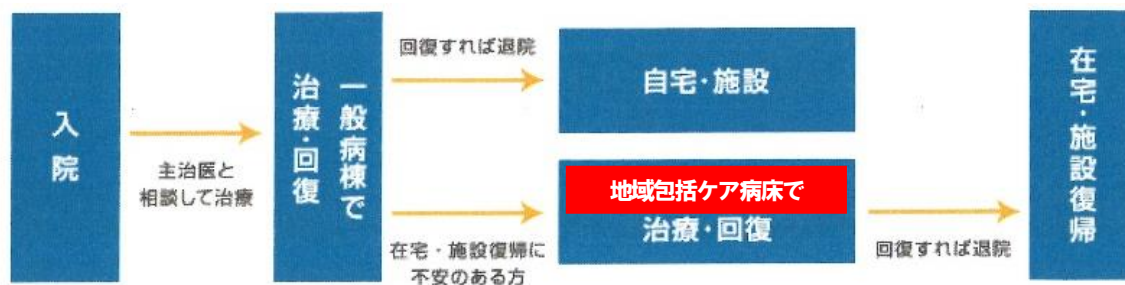
■ どのような場合に入院となるのか？

急性期治療が終了した患者様が対象となり、在宅または介護施設への復帰を目指しておられる方であればご利用いただけます。

- ①入院治療により状態は改善したが、当院にてもう少し経過観察が必要な方
- ②入院治療により病状が安定し、在宅復帰に向けてリハビリテーションが必要な方
- ③在宅での生活にあたり準備が必要な方

※地域包括ケア病床へ直接入院となるか、あるいは一般病床からの転床となるかは主治医が判断し、患者様やご家族の方へ提案させていただきます。

※一般病床から地域包括ケア病床へ転床される場合はお部屋が変わりますので、ご了承願います。



■ ご相談・お問い合わせについて

地域包括ケア病床に関するお問い合わせは、地域医療連携室までお願いします。

- ・地域包括ケア病床の対象となる患者様について
- ・退院後の生活や在宅復帰支援について
- ・在宅や施設で療養されている患者様の一時的な入院対応について

その他、入院についてのご相談やご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。